

第67号

有明工業高等専門学校

〒836・大牟田市東萩尾町150

TEL 0944-53-1013

印刷:精巧印刷株式会社

有明高専だより

諸君入学おめでとう。競争率三・六倍の難関を突破した諸君は本日より有明工業高等専門学校の学生であります。学生の名は高等教育機関でのみ使用出来るもので、高等学校に入学した諸君の友人達は中等教育機関に属するため、学生ではなく生徒であります。生徒と学生の違いは次の通りです。生徒とは学校で教えを受けている者、学生とは学校で自ら進んで学業を修める者で、一人前の人ということです。

現在日本では二十才で成人になります。ここで初めて一人前と認められる訳です。しかし諸外国では十八才をもつて成人とする所が大部分であります。昔の日本では十五才は十五才で元服、即ち成人としたものです。本日本校に入学された諸君は十五才の本日をもって日本の古来の風習に従い成人に成ったものと考えてください。そして学生であるという誇りを、「父兄共々持つてください。

諸君は此れより五年間の無駄のない一貫教育により、日本の将来を担う技術者になるよう指導されます。この教育が成功するかどうかは、諸君が新しい事に飛びついで行くかどうかにあります。現在日本は技術大国として世界に認められております。日本は物まねに

より、繁栄してきたと言つ批判はもはや無くなり、特に先端技術の分野に於ける日本の技術は欧米より高く評価され、高い高度成長を羨望されると共に、将来を恐れられております。

具体的な例として、ペンシルベニア州の宇宙開発は、部分的にはケットによりおくれせに始まつた日本の宇宙開発は、部分的には

より、繁栄してきたと言つ批判は

もはや無くなり、特に先端技術の分野に於ける日本の技術は欧米より高く評価され、高い高度成長を羨望されると共に、将来を恐れられております。

高温超伝導体フィーバーに於いても、日本の研究機関、企業の成果は目ざましく、これの対抗策として米国のレーガン大統領は大号令を発し、国家的研究組織を作つております。日本の技術に対する米国に対する対抗意識が見られます。

このよき日本の急速な技術の進歩は、各々の技術者の新しいものへの挑戦する心に飛び付く心を養つてください。向学心に富む学生に取つては、

大学院にまで行ける道が広く開けております。高専卒業生の大学三年編入制度であります。高専卒業生を専門に受け入れる大学、技術科学大学が二つ作られております。その他多くの国立大学でも、その制度があります。東大でも九大でも此の制度があります。

此の制度は高専卒業生の特権であります。此事は二月二十六日付けの週間説売、朝日ジャーナルなどにも「東大入学の穴場」として紹介されております。本校から毎年六名程度が主として学校推薦で編入学できる大学に進学しております。東大や九大に編入するには試験があります。本校でもこれに挑戦する学生が出ることを

第26回 入学式式辞



II 目次 II

第26回入学式式辞

第21回卒業証書授与式式辞

3人の教官学位を取得される

人事異動

松島元教授に名誉教授授与

有明高専退官に当つて

僕の大牟田・有明高専

おわかれのことば

新任紹介

新入生オリエンテーションを

終えて

田口教授「工作機械技術振興

賞」奨励賞受賞

学生表彰

エッセイ

年間行事計画

図書館について

同窓会だより

教室通信

クラブ活動紹介

学生会だより

新学生主事室の発足に当たつて

春季球技大会

公開講座受講生募集

編集後記

退官に当つて

松島 寛治

昭和63年6月13日 有明高専だより

ます、学生諸君に御礼を申し上げます。それは、私が学生こそ学校にとつてはお客様なんだと思つてのことですが、諸君は担当教科に関しても一人も欠点を取るもののがなく、授業にもよく出席してくれて、眠つては叱られる者もいたが不面目な人はいなかつた。このことは教師として最もうれしいことでした。本当にありがとうございます。

しかし、講義中は皮肉めいたことが多かつたり、評価も諸君の意にそわざ厳しくて、不快の方もあつたことと思いますが、それは私の至らぬところとお許下さい。

さて、十七年十一ヶ月の在職を振り返つてみて、私がものごろついて以来、最も永く暮したのがこの有明の地であります。九州の久留米生まれ育ちの私にとっては、まつたくの「仕合せ」なことだつたと、美しい想い出になりました。

だが、世界中の人は皆、生れ育つた処で暮しつくことが最も仕合せと考えております。彼のゴビ灘(たん)・タクラマカン砂漠に住む人々からもこのことを聞きまし

た。いわゆる住めば都でしようが、住める都にするのが人間としての智恵であります。文化と文明はこの点で厳格に分別しなければなりません。

湯ヶ島は川端康成が『伊豆の踊り子』を執筆した場所です。その原稿の校正を行なつたのが、当時肺結核を病んでいた梶井基次郎でした。その梶井は湯ヶ島で『闇の絵巻』という作品を残しております。今でも彼が歩いた道筋をたどることができます。彼の日記を見ますと近世の俳人芭蕉に心ひかれているのが判ります。おそらく死を予期していたであろう彼が何故に近世の俳諧にひかれていたのか、私も愛誦の一句を冒頭にかかげ、皆様への惜別の辞にかえたと思います。

来翁は、ひと息つこうと路傍の石に腰をかけ、ふと来し方をふり返りました。すると、眼下の連山の一角が金山桜の花で真っ盛りでした。「ああ、あの山はおとつい越えてきたんだなあ」そう思つた彼は、またくてくと山路を登つていつたのです。此處には古来日本人が愛した旅の雰囲気が漂々としました。まるで詠まれています。

ひるがえつて、私が通つてきた山路はとてもこのように桜花爛漫であつたとは言えません。しかし、過去をふり返つた時、このように真っ盛りの桜の山として眺められる人は幸せだと思います。私はただそういう人を指をしやぶりながら

第67号 第67号 (4)

では、日本中で九州が一番自然状態がすぐれて居ります。だのに、筑紫の国といながら住みづくすのにはどうでしょうか。

論語読みの論語知らずと言うことがあります。九州人の九州知らずもあります。西日本とは主として九州のことと信じている九州人が殆どですが、関西以西が西日本であつて、九州は筑前筑後肥前肥後豊前後六國に日向と大隅薩摩の三州を加えた九州島なのです。

その九州は、九州は一つと呼びます。本当にありがとうございます。

とにかく、授業にもよく出席してくれて、眠つては叱られる者もいたが不面目な人はいなかつた。このことは教師として最もうれしいことでした。

しかし、講義中は皮肉めいたことが多かつたり、評価も諸君の意にそわざ厳しくて、不快の方もあつたことと思いますが、それは私の至らぬところとお許下さい。

さて、十七年十一ヶ月の在職を振り返つてみて、私がものごろついて以来、最も永く暮したのがこの有明の地であります。九州の

久留米生まれ育ちの私にとっては、まつたくの「仕合せ」なことだつたと、美しい想い出になりました。

だが、世界中の人は皆、生れ育つた処で暮しつくことが最も仕合せと考えております。彼のゴビ

灘(たん)・タ克拉マカン砂漠に住む人々からもこのことを聞きまし

た。いわゆる住めば都でしようが、住める都にするのが人間としての智恵であります。文化と文明はこの点で厳格に分別しなければなりません。

では、日本中で九州が一番自然状態がすぐれて居ります。だのに、筑紫の国といながら住みづくすのにはどうでしょうか。

論語読みの論語知らずと言うことがあります。九州人の九州知らずもあります。西日本とは主として九州のことと信じている九州人が殆どですが、関西以西が西日本であつて、九州は筑前筑後肥前肥後豊前後六國に日向と大隅薩摩の三州を加えた九州島なのです。

その九州は、九州は一つと呼びます。本当にありがとうございます。

とにかく、授業にもよく出席してくれて、眠つては叱られる者もいたが不面目な人はいなかつた。このことは教師として最もうれしいことでした。

しかし、講義中は皮肉めいたことが多かつたり、評価も諸君の意にそわざ厳しくて、不快の方もあつたことと思いますが、それは私の至らぬところとお許下さい。

さて、十七年十一ヶ月の在職を振り返つてみて、私がものごろついて以来、最も永く暮したのがこの有明の地であります。九州の

久留米生まれ育ちの私にとっては、まつたくの「仕合せ」なことだつたと、美しい想い出になりました。

だが、世界中の人は皆、生れ育つた処で暮しつくことが最も仕合せと考えております。彼のゴビ

灘(たん)・タ克拉マカン砂漠に住む人々からもこのことを聞きまし

た。いわゆる住めば都でしようが、住める都にするのが人間としての智恵であります。文化と文明はこの点で厳格に分別しなければなりません。

では、日本中で九州が一番自然状態がすぐれて居ります。だのに、筑紫の国といながら住みづくすのにはどうでしょうか。

論語読みの論語知らずと言うことがあります。九州人の九州知らずもあります。西日本とは主として九州のことと信じている九州人が殆どですが、関西以西が西日本であつて、九州は筑前筑後肥前肥後豊前後六國に日向と大隅薩摩の三州を加えた九州島なのです。

その九州は、九州は一つと呼びます。本当にありがとうございます。

昭和63年6月13日 有明高専だより

有明高専だより

(5) 第67号



機械工学科助手

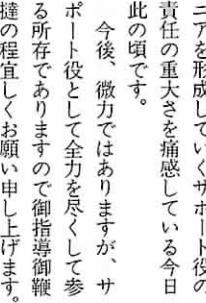
明石剛二

新任紹介



工業化学科教授

塚本祐右

一九八八年五月五日チヨモラン
マ頂上より史上初めてのTV放映
に成功した瞬間、画面に努力の跡
が染着いた登頂者の顔、またベー
スキヤンブで陰ながらサポートし
てきた隊員たちの姿等の素晴らしい
映像が我々の前に写し出され、眞
人の間美を見せてくれました。

それは、登山者とは目標は異なる
着任以来度々この人間美を目にして
てきました。

学校を卒業して約三十年間、企
業に働いておりました。前半は丁
度日本の高度成長期にあたり、重

てられたごく少数の人達であった。
が、みんな素直で好青年であった。
まことに教師冥利に尽きたと思つた。
事はクラスの学生を亡くしたこと
の国道で。諸君、どうか、時には
校門正面の祈りの楊梅を見上げて
ほし。

僕は教官だから、僕は二人の子
どもを育てたから、僕自身、旧制
工業学校で育つたから、諸君の勉
強には大いに関心がある。だから、
て大牟田にやつて來た。その時、
五月橋界隈をあるいて大牟田川の
肥後豊前後六國に日向と大隅薩
摩の三州を加えた九州島なのです。

その九州は、九州は一つと呼び
ます。それは、私が学生こそ学
校にとつてはお客様なんだと思つて
のことですが、諸君は担当教科

昭和63年6月13日 有明高専だより

松島 寛治

第67号 (4)

に関しても一人も欠点を取るもののがなく、授業にもよく出席してくれて、眠つては叱られる者もいたが不面目な人はいなかつた。このことは教師として最もうれしいことでした。

しかし、講義中は皮肉めいたことが多かつたり、評価も諸君の意にそわざ厳しくて、不快の方もあつたことと思いますが、それは私の至らぬところとお許下さい。

さて、十七年十一ヶ月の在職を振り返つてみて、私がものごろついて以来、最も永く暮したのがこの有明の地であります。九州の

久留米生まれ育ちの私にとっては、まつたくの「仕合せ」なことだつたと、美しい想い出になりました。

だが、世界中の人は皆、生れ育つた処で暮しつくことが最も仕合せと考えております。彼のゴビ

灘(たん)・タ克拉マカン砂漠に住む人々からもこのことを聞きまし

た。いわゆる住めば都でしようが、住める都にするのが人間としての智恵であります。文化と文明はこの点で厳格に分別しなければなりません。

では、日本中で九州が一番自然状態がすぐれて居ります。だのに、筑紫の国といながら住みづくすのにはどうでしょうか。

論語読みの論語知らずと言うことがあります。九州人の九州知らずもあります。西日本とは主として九州のことと信じている九州人が殆どですが、関西以西が西日本であつて、九州は筑前筑後肥前肥後豊前後六國に日向と大隅薩摩の三州を加えた九州島なのです。

その九州は、九州は一つと呼びます。本当にありがとうございます。

とにかく、授業にもよく出席してくれて、眠つては叱られる者もいたが不面目な人はいなかつた。このことは教師として最もうれしいことでした。

しかし、講義中は皮肉めいたことが多かつたり、評価も諸君の意にそわざ厳しくて、不快の方もあつたことと思いますが、それは私の至らぬところとお許下さい。

さて、十七年十一ヶ月の在職を振り返つてみて、私がものごろついて以来、最も永く暮したのがこの有明の地であります。九州の

久留米生まれ育ちの私にとっては、まつたくの「仕合せ」なことだつたと、美しい想い出になりました。

だが、世界中の人は皆、生れ育つた処で暮しつくことが最も仕合せと考えております。彼のゴビ

灘(たん)・タ克拉マカン砂漠に住む人々からもこのことを聞きまし

た。いわゆる住めば都でしようが、住める都にするのが人間としての智恵であります。文化と文明はこの点で厳格に分別しなければなりません。

では、日本中で九州が一番自然状態がすぐれて居ります。だのに、筑紫の国といながら住みづくすのにはどうでしょうか。

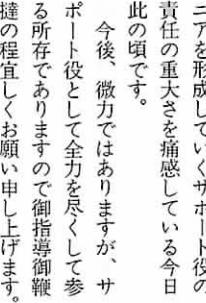
論語読みの論語知らずと言うことがあります。九州人の九州知らずもあります。西日本とは主として九州のことと信じている九州人が殆どですが、関西以西が西日本であつて、九州は筑前筑後肥前肥後豊前後六國に日向と大隅薩摩の三州を加えた九州島なのです。

その九州は、九州は一つと呼びます。本当にありがとうございます。



機械工学科助手

明石剛二

一九八八年五月五日チヨモラン
マ頂上より史上初めてのTV放映
に成功した瞬間、画面に努力の跡
が染着いた登頂者の顔、またベー
スキヤンブで陰ながらサポートし
てきた隊員たちの姿等の素晴らしい
映像が我々の前に写し出され、眞
人の間美を見せてくれました。

それは、登山者とは目標は異なる
着任以来度々この人間美を目にして
てきました。

学校を卒業して約三十年間、企
業に働いておりました。前半は丁
度日本の高度成長期にあたり、重

てられたごく少数の人達であった。
が、みんな素直で好青年であった。
まことに教師冥利に尽きたと思つた。
事はクラスの学生を亡くしたこと
の国道で。諸君、どうか、時には
校門正面の祈りの楊梅を見上げて
ほし。

僕は教官だから、僕は二人の子
どもを育てたから、僕自身、旧制
工業学校で育つたから、諸君の勉
強には大いに関心がある。だから、
て大牟田にやつて來た。その時、
五月橋界隈をあるいて大牟田川の
肥後豊前後六國に日向と大隅薩
摩の三州を加えた九州島なのです。

昭和63年6月13日 有明高専だより

松島 寛治

第67号 (4)

に関しても一人も欠点を取るもののがなく、授業にもよく出席してくれて、眠つては叱られる者もいたが不面目な人はいなかつた。このことは教師として最もうれしいことでした。

しかし、講義中は皮肉めいたことが多かつたり、評価も諸君の意にそわざ厳しくて、不快の方もあつたことと思いますが、それは私の至らぬところとお許下さい。

さて、十七年十一ヶ月の在職を振り返つてみて、私がものごろついて以来、最も永く暮したのがこの有明の地であります。九州の

久留米生まれ育ちの私にとっては、まつたくの「仕合せ」なことだつたと、美しい想い出になりました。

だが、世界中の人は皆、生れ育つた処で暮しつくことが最も仕合せと考えております。彼のゴビ

灘(たん)・タ克拉マカン砂漠に住む人々からもこのことを聞きまし

た。いわゆる住めば都でしようが、住める都にするのが人間としての智恵であります。文化と文明はこの点で厳格に分別しなければなりません。

では、日本中で九州が一番自然状態がすぐれて居ります。だのに、筑紫の国といながら住みづくすのにはどうでしょうか。

論語読みの論語知らずと言うことがあります。九州人の九州知らずもあります。西日本とは主として九州のことと信じている九州人が殆どですが、関西以西が西日本であつて、九州は筑前筑後肥前肥後豊前後六國に日向と大隅薩摩の三州を加えた九州島なのです。

その九州は、九州は一つと呼びます。本当にありがとうございます。

とにかく、授業にもよく出席してくれて、眠つては叱られる者もいたが不面目な人はいなかつた。このことは教師として最もうれしいことでした。

しかし、講義中は皮肉めいたことが多かつたり、評価も諸君の意にそわざ厳しくて、不快の方もあつたことと思いますが、それは私の至らぬところとお許下さい。

さて、十七年十一ヶ月の在職を振り返つてみて、私がものごろついて以来、最も永く暮したのがこの有明の地であります。九州の

久留米生まれ育ちの私にとっては、まつたくの「仕合せ」なことだつたと、美しい想い出になりました。

だが、世界中の人は皆、生れ育つた処で暮しつくことが最も仕合せと考えております。彼のゴビ

灘(たん)・タ克拉マカン砂漠に住む人々からもこのことを聞きまし

た。いわゆる住めば都でしようが、住める都にするのが人間としての智恵であります。文化と文明はこの点で厳格に分別しなければなりません。

では、日本中で九州が一番自然状態がすぐれて居ります。だのに、筑紫の国といながら住みづくすのにはどうでしょうか。

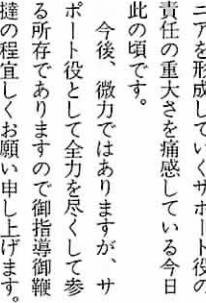
論語読みの論語知らずと言うことがあります。九州人の九州知らずもあります。西日本とは主として九州のことと信じている九州人が殆どですが、関西以西が西日本であつて、九州は筑前筑後肥前肥後豊前後六國に日向と大隅薩摩の三州を加えた九州島なのです。

その九州は、九州は一つと呼びます。本当にありがとうございます。



機械工学科助手

明石剛二

一九八八年五月五日チヨモラン
マ頂上より史上初めてのTV放映
に成功した瞬間、画面に努力の跡
が染着いた登頂者の顔、またベー
スキヤンブで陰ながらサポートし
てきた隊員たちの姿等の素晴らしい
映像が我々の前に写し出され、眞
人の間美を見せてくれました。

それは、登山者とは目標は異なる
着任以来度々この人間美を目にして
てきました。

学校を卒業して約三十年間、企
業に働いておりました。前半は丁
度日本の高度成長期にあたり、重

てられたごく少数の人達であった。
が、みんな素直で好青年であった。
まことに教師冥利に尽きたと思つた。
事はクラスの学生を亡くしたこと
の国道で。諸君、どうか、時には
校門正面の祈りの楊梅を見上げて
ほし。

僕は教官だから、僕は二人の子
どもを育てたから、僕自身、旧制
工業学校で育つたから、諸君の勉
強には大いに関心がある。だから、
て大牟田にやつて來た。その時、
五月橋界隈をあるいて大牟田川の
肥後豊前後六國に日向と大隅薩
摩の三州を加えた九州島なのです。

昭和63年6月13日 有明高専だより

松島 寛治

第67号 (4)

に関しても一人も欠点を取るもののがなく、授業にもよく出席してくれて、眠つては叱られる者もいたが不面目な人はいなかつた。このことは教師として最もうれしいことでした。

しかし、講義中は皮肉めいたことが多かつたり、評価も諸君の意にそわざ厳しくて、不快の方もあつたことと思いますが、それは私の至らぬところとお許下さい。

さて、十七年十一ヶ月の在職を振り返つてみて、私がものごろついて以来、最も永く暮したのがこの有明の地であります。九州の

久留米生まれ育ちの私にとっては、まつたくの「仕合せ」なことだつたと、美しい想い出になりました。

だが、世界中の人は皆、生れ育つた処で暮しつくことが最も仕合せと考えております。彼のゴビ

灘(たん)・タ克拉マカン砂漠に住む人々からもこのことを聞きまし

た。いわゆる住めば都でしようが、住める都にするのが人間としての智恵であります。文化と文明はこの点で厳格に分別しなければなりません。

では、日本中で九州が一番自然状態がすぐれて居ります。だのに、筑紫の国といながら住みづくすのにはどうでしょうか。

論語読み

高 明 専 だ より

昭和63年6月3日

同窓會事務局

すでにご承知のとおり、同窓会では
年度中に第2回目の会員名簿を発行
する予定です。

ところが住所不明会員がなんと 500 にものぼることが判りました。実に 人に 1 人の割合です。これでは名簿 して機能しません。

空欄をできるかぎり埋めたいので、
の表記欄の会員につき、勤務先・住
などをご存じの方は各学科の担当理
てお知らせ下さい。電話でもFAX
も結構です。連絡をお待ちしていま
。

= 連 絡 先 =

836 大牟田市東萩尾町150
有明高専 同窓会
機械工学科：田口また
電気工学科：須藤また
工業化学科：永田
建築学科：吉岡また
EL 0944(53)1011(代)
AX 0944(53)1361

以

機械工学科

(43年卒)	阿部 和人	相浦 弘親	(59年卒)	荒木 浩二	石原 堅	(52年卒)	石川 修	小山 邦男
(44年卒)	岩井 彰	大坪 正彦		岩根 有希	笠原 忠士		北原 隆明	近藤 康博
	園田 一英	森尾 哲朗		竹 英昭	谷口 洋		阪本 博明	塚本 克興
	米田 徳光			吉野 宏一			中尾 文夫	林田 孝行
(45年卒)	赤星 繁夫	田中 但	(60年卒)	今村 豊	川田 光	(53年卒)	入口 裕治	大山正一郎
	中島 正男	深沢 修平		小松 準三	古賀 優		田尻 年博	田中 修
	松尾 洋喜			境 栄二	宮本 孝司		田中 幸夫	高戸 逸
(46年卒)	池尻 俊郎	石原 富男	(61年卒)	清田 純一	小宮 俊博		武田 幸洋	徳川 英臣
	金富 時夫	梶島 謙一	(62年卒)	酒井 宏司	永井 良和		丸山 博志	三ヶ尻 博
	黒田 隆二	三ヶ 次雄		渡辺 俊彦			宮崎 秀二	

电气工学科

)	井上 幹	白石 寛雄		杉本 政一	田中 正
	田崎 徹	塙本 善策		前田 武	森 一雄
	原田 和雄	藤本 正信	(55年卒)	森下 真也	
	前原 昭光	松藤 陽三		清水 泉	高場 英信
	吉田 浩			中村 鉄雄	仲野 秀明
)	伊藤 博義	池田 知隆	(56年卒)	宮崎 靖彦	吉村 幸満
	米田 恽一	渋谷 和広		井上 隆二	久保田桂二
	高倉 寛昭	永松 新		小柳 博	田中 豊
				萩原 郁夫	吉永 清人

一生けん命になるほど、トンチンカンになる…、という、経験を有する方々は、案外、多いのではなかろうか。方向（目的）を、マチがえた自動車は、アクセルをふかすほど、目的地から、遠ざかるのに、似ている。

隨想でよろしい、との許しをえたので、若干の想いを、述べさせてもらうことにする。

明治開国以降の日本は、小国悲しさから、富國強兵の旗印のもと、一生けん命になつた。前半は文部省その他の学校が受持ち、後半は、陸海軍の学校が受持つたと思う。悔りや、外圧をハネ返す為に、と、先輩達は苦労したはずである。その結果が、昭和二十年八月の敗戦になつた、とも言えよう。あの時、私は不賛成だった、などと言つても、取り合つてもらえぬほど、コテンパンにやられた。

その後、気を取り直して、文化国家、經濟立國、のスローガンで、また一生けん命になつた。いろ恋と、飢えとをともに、較ぶれば恥ずかしながら、ひもじさが先とばかりに、文化を少し後まわしにして、飯のたねになる經濟を先行させた。工業技術の開発は、大いに、その手伝いと云ふことにこな

世界の恨みをかう、という今日の状態を招いてしまった、ことにならぬだろうか。貿易摩擦という争いである。工業のトバッヂりが農業への外圧になった、といって内輪モメまで始まつた。ドジを二度やる奴は、本物の馬鹿と言わわれている。それをやつた、又はやっているのだから、やはり、我等の馬鹿はほんものか、と思えてくる。ところで、この小冊子は、学生の目にもふれる、と聞いたので、もう少し述べさせてもらうことにする。国立学校の設置は、広い意味で、国家の意図と無関係ではないだろう。しかし、それはさておき、学生諸君は、自分のことが、最も大切なことである。先ず将来の自分のめしのために、勉強や体育に、頑張ってほしいと思う。ついでに、他の日本人にも、めしを食わせてやってほしいと思う。そんな大それたことを！と思わんでも結構である。二十一世紀は、若者が減少する時代（老人の比率が増加する時代）だからだ。國家が税金をつき込むゆえんである。大らかに、先ず、自分の身の振り方を考えよ、と申し上げておこう。ただ、元気（勇気）がないのと、行儀のワルイのは困る。日本人は

行儀がワルイのは、再び、ふるく叩きの可能性をはらむので、心して頂きたいと思う。

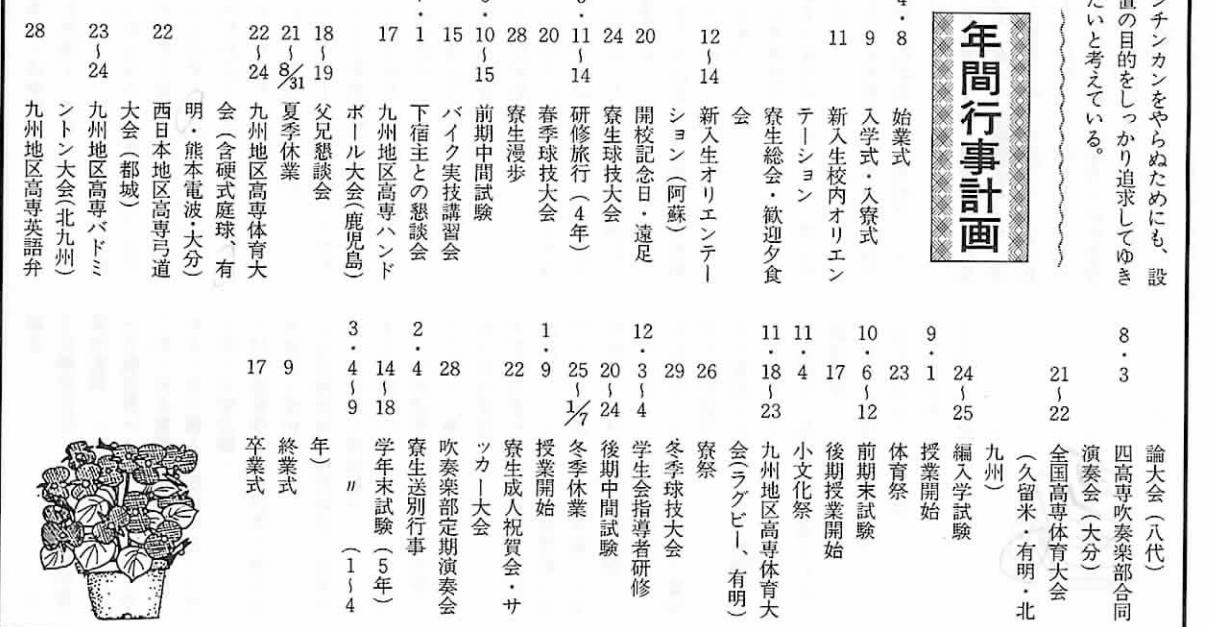
さて、最後にもう一つ。この学校には、女性の職員や、女子学生が多いので、大変結構なことだ、と思っている。男女別学の世代や学校は、簡明だが殺風景だった経験をもつからだ。別の言い方をすれば、男達が一生けん命になつて馬鹿と氣狂いを造りかねないからだ。任務となれば、何が何でも果さねばならぬ、と思い込み、調和を欠くようになるおそれがある。

そうは言ひながらも、やはり、男の子は光った目玉を持ち、学科や体育で逃げたりはせず、たとえワルさをしても、泣き言や言いわけをせぬ子であつてほしいと思う。女性方には、こちらへんをしつかり見守るとともに、賢明な助言をしてやつては頂けまいか、と願っている。

当校に来て、やつと一年、多分落第だろう、その時は止むをえぬ……、と思っていたのに、たとえお情けであれ、二年生にしてもらつて、嬉しくてならぬ所である。そして又もや、一生けん命の馬鹿ハタ迷惑もいの所だ！と、もう一人の自分が笑つている。申しわけない次第である。

幸いにして、文部省学校には、多くの自由がある。それだけに、

置の目的をしっかりと追求してゆきたいと考えている。



「読書の悦び」

高有明図書館だより 57

図書館長 向井昭三

「論語学而篇にいふ、学びて時に之を習ふ、亦悦ばしからずや。」

ここにいふ学とはすなはち、未だ知ることなきところを覺悟することこれである。今までわが心の上に、それとは知ること能はざりことともを、他の教によりてわが心の上になるほどと自証し、納得し、斯かる時にはかくあり、斯かる場にありては、かく為さればならぬものであると合点し、納得するといふことが、学といふものの本義である。谷川士清は学とはまねぶの転語にして、まねぶ玉の略古人の徳行を微ひて履み行ふの字義なりと『和訓葉』に説くところがあった。すなはち自己より前なる人の言行履歴を微ひて引用しました。論語の文章の解説ですが、「学ぶ」ということについて余す所なく説かれていると思います。最近、私はこれを読んで、その穏やかな文章に魅せられたのです。

人々はよく、戦前・戦中の言論の偏りを批判しますが、近時の時ではなくして、時として習はざる無く、立時も坐時もこれをゆる孔子は時に之を習ふといつた。ここにいふ時は、昼前の時とか、昼さがりの時とかいふことである。孔子は時に之を習ふといつた。ここにいふ時は、昼前の時ではなくして、時として習はざる無く、立時も坐時もこれをゆる。

昭和62年度学科別貸出図書冊数調
(延入館者数 21,673人
開館日数 299日)

学科	学年	利 用 人 員	貸 出 冊 数	内 訳											
				000 総記	100 哲学	200 歴史	300 社会科学	400 自然科学	500 工学	600 産業	700芸術	800 語学	900 文学		
機械工学科	1	203	244	3	9	15	12	45	20	5	38	13	84		
	2	101	111	4	7	7	4	13	44	3	8	1	20		
	3	58	87	0	0	4	9	20	29	0	3	0	22		
	4	147	204	3	1	1	2	9	173	0	5	0	10		
	5	64	100	11	7	1	2	26	48	0	4	0	1		
計				573	746	21	24	28	113	314	8	58	14	137	
電気工学科	1	206	257	19	4	22	9	99	22	3	9	4	66		
	2	179	252	6	1	29	9	50	124	0	13	1	19		
	3	150	214	2	1	3	5	55	103	0	1	4	40		
	4	240	354	4	2	1	2	17	282	0	13	3	30		
	5	103	150	14	2	4	16	4	93	0	7	2	8		
計				878	1,227	45	10	59	41	225	624	3	43	14	163
建築工学科	1	240	344	7	8	69	4	60	9	1	100	6	80		
	2	418	598	24	23	39	39	168	45	1	48	17	194		
	3	303	440	1	6	4	4	348	32	0	3	0	45		
	4	114	149	2	0	11	11	85	17	0	3	1	19		
	5	171	249	6	6	13	9	84	3	3	4	0	32		
計				1,246	1,780	40	43	136	67	747	187	5	157	28	370
工業工学科	1	159	219	2	4	13	4	85	22	0	16	3	70		
	2	184	261	3	3	19	4	41	78	0	25	4	84		
	3	127	184	4	6	6	0	28	72	0	21	0	47		
	4	197	276	1	1	2	2	6	230	0	4	2	28		
	5	243	346	2	11	7	14	6	251	0	6	0	49		
計				910	1,286	12	25	47	24	166	653	0	72	9	278
合 計				3,607	5,039	118	102	270	161	1,251	1,778	16	330	65	948

図書館スタッフ紹介



一般科
建築工学科
電気工学科
機械工学科
(図書館運営委員)
図書館長 向井昭三
副書長 底務課長 (事務部)
書類係長 池田茂
戸上清子 宮川喜己
戸上喜己 宮川喜己
宮本美沙子

(57年卒)	木村 隆廣	幸田 幸洋	大塚 信晴	坂口 明広	(50年卒)	岡田 充	木道 哲夫
	坂本 良来	田中 裕明	猿渡 良雄	西辻 俊彦		塩山 秀樹	田上 實
	高原 雅昭	堤 和浩	羽田野 誠一	藤本 光夫		三好 殖也	友納 繁美
	永野間 敦	平川 浩嗣	安達ひでよ(旧姓 宮脇)			小野田 純	岡田 英二(旧姓 上米良)
	平川 清二	平田裕二郎				松鶴 秀也	阿部 勇二
(58年卒)	丸山 誠義	宮地 寿人	南 安達	河津 映二	(52年卒)	菊川 隆	中島 敏宏
	山口 通広	柿添 正勝	木野 堀本	藤本 博範		中島 敏郎	堀尾 喜
	牛島 浩一	松崎 義和	堀本 康行	堀口 孝		堀尾 喜	中野 隆
	中嶋 清浩		宮本 幸二				
(59年卒)	桑原 浩文		内田 信吾				
(60年卒)	井島 達也	工野 晴巳	池上 昭行				
	平井 浩	深町 公	浦田 齐行				
	松尾 美治		西部 正博				
(61年卒)	江藤 剛	城戸 隆征	松永 基英				
	鳴本 篤	田口健一郎	浦島 和浩				
	野口 裕司	松永 光弘	園田 稔篤				
	竹下 佳也	宮本 広宣	浅井 和浩				
(62年卒)	末吉 孝博		黒山 時房				

工業化学科

(43年卒)	岡田磨里(旧姓 賀川)	福井藤子(旧姓 黒田)	(58年卒)	吉田 功	片山 大介	(57年卒)	小川 伸司
	岡 和喜	田中大一郎		善田 尚秀	潔 豊		城戸 博彦
	増田 憲一			中原 利幸	良夫		沼義博
(44年卒)	石原 哲由	弥永 俊二	(59年卒)	松尾 利健	英 雄	(58年卒)	岩永 勝弘
	岩下 信興	太田 正典		森田 健司	茂穂		長浦 正成
	樺山 義高	亀尾 悟		江口 雄二	清房		
	肥田 寛行(旧姓 中村)			木田 直徳	寺本 直之		
	平山 卓美	村上 安男		北口 健一	憲二		
(45年卒)	伊藤 信幸	弥永 教一	(60年卒)	村尾 光博	和彦	(61年卒)	西川 伸之
	古賀 幹雄	佐藤 克幹		池田 秀二	和彦		高木 浩一
	坂井 利広	田島 繁人		大塚 隆雅	慶一		高口 幸雄
	高倉 満男	武部 健治		林 友広	惣市		時津 好成
	横山 不二男			益田 竜児	正信		松下 伊納
	家入 義寛			木下三千雄	智幸		
(46年卒)				田中 弘行	正浩		
				日永 秀幸	岡崎 光樹		
				伊藤 明	柴戸みさを		
				浦野 俊也	吉田 俊博		
				筒井 武夫	河地 照光		
				野田 潔	山田 守		
				山口 茂也	石原 国泰		
				井上 哲人	鵜瀬 元康		
				大川 龍三	島添 光正		
				大溝 信次	田中 博文		
				高田 和	田中 勝		
				本田 崇之	宮田 直樹		
				山代 昌明	(48年卒)		
				宇都宮俊徳	亀崎 友義		
				瀬浦 良一	多々良祐司		
				広重 勝信	原田 謙一		
				松尾 和義	山本 隆行		

建築学科

(49年卒)	小宮 優治	田原 正博	(49年卒)	田上 厚(旧姓 松原)	
	瀬浦 良一	藤本 弘丹		田上 かや(旧姓 小野田)	
	広重 勝信	村上 恵子		鶴田 律夫	藤原 正博
	松尾 和義	(竹田)		本村 崎	吉水 栄治
(50年卒)	井上まゆみ(旧姓 境)				



新しい住所は、〒870 大分市高崎4-18-8
☎0975-43-3017

※ 明石剛二先生が九州大学大学院機械工学修士課程を修了され、63年4月に新任教官として着任されました。

※ 63年春、機械工学科に「超精密高速マシニングセンター」並びに「X線回折・応力測定装置」の新鋭機が設置され、卒研に威力を発揮することが期待されています。

■山田泰宏君 (43) ☎転居〒574 大阪府大東市北条5丁目9-59 ☎0720-77-8730

■西崎 厚君 (43) ☎転居〒191 東京都日野市程久保2-8-10

■今古賀義広君 (43) ☎転居〒837 大牟田市久福木154-7 ☎0944-54-5592

■松浦 正君 (43) ☎転居〒502 岐阜県岐阜市則武412-25 ☎0582-31-9233

■田中博成君 (57) 63.4.30 結婚 (新婦みどりさん)

■茂見 訓君 (55) ☎サン情報サービス㈱ 〒103 東京都中央区日本橋室町2-1-1 三井ビル中3号館2階

☎03-279-2502 ☎〒170 東京都豊島区駒込6-6-9 三井駒込山駒込寮215号室 ☎03-918-0841

電気工学科

※在京7期生有志同窓会

本年3月上京の折NECフィールドサービスKKを訪問し7期生山本文雄君と更に同じビル内のNECトラン

ミッションKKにおいて吉村祐二君(54)村田真也君(59)木原雅孔君(62)と会うことが出来た。山本君の連絡により

各自負担としたためか、返信が少なく、発行部数の決定が難しい。発行費支出見積り額は約180万円となり、単価2,000円で600部を出し、経費の不足額約60万円は広告収入で補填することが了承された。この広告料集めには卒業生会員の協力を切にお願いする。

尚、繰返し目減り対策として、資産の相当額を有利な預金に移すことが了承された。

5については以下の通り理事会で決定された。

顧問/竹村校長 会長/C3重村

副会長/成富教務主事、C2山村

教職員理事/(会計)辻学生主事、M田口

(庶務)E須藤、C永田、G品川、A吉岡

(名簿)M川岸、A上原、E塙本 狩生事務部長

理事/(M)M1川岸、M2松岡 (E)E1山口、E8

塙本※ (C)C1高口、C1塙本 (A)A1鶴田、

A2平野、A4上原※

監事/C1岸川、M6柏村 ※は名簿理事を兼務

6、その他について、建築学科松島先生の定年退官謝

思会の席で、同窓会館の建設が話題となったとのこと

である。これについては調査研究の方向で事業計画の一部に含めることとなつた。

以上が簡単な理事会報告である。終りに卒業生会員各

位の健康と活躍を祈り、併せて本会への協力、特に消息連絡をお願いして本通信を終る。

教室内通信

機械工学科

※小田明教授が63年3月に定年退官されました。

※氷室昭三先生は5月より熊本大学へ内地留学されてい

ます。

■植田慶一君 (55) は長岡技術大さらに大阪大学基礎工学研究所 博士課程を修了され63年3月で工学博士号を取得されました。おめでとうございます。論文題目「Highly efficient solar energy conversion by means of photoelectrochemical cells equipped with metalcoated silicon electrodes」

※次の方が結婚されました。おめでとうございます。

■若松真司君 (61) ☎63.3.19結婚 (新婦洋子さん)

■宮津與志之君 (58) ☎63.4. 結婚 (新婦裕美さん)

〒444 愛知県岡崎市江口2丁目4-6 フジマンション江口201号 ☎0564-54-5138

■松本辰男君 (50) ☎63.5.29 結婚 (新婦恵子さん)

※転職、就職等をお知らせします。

■松浦 正君 (43) ☎転居〒502 岐阜県岐阜市則武412-

25 ☎0582-31-9233

■田中博成君 (57) 63.4.30 結婚 (新婦みどりさん)

■茂見 訓君 (55) ☎サン情報サービス㈱ 〒103 東京

都中央区日本橋室町2-1-1 三井ビル中3号館2階

☎03-279-2502 ☎〒170 東京都豊島区駒込6-6-9 三

井駒込山駒込寮215号室 ☎03-918-0841

建築学科

※在京7期生有志同窓会

本年3月上京の折NECフィールドサービスKKを訪問し7期生山本文雄君と更に同じビル内のNECトラン

ミッションKKにおいて吉村祐二君(54)村田真也君(59)木

原雅孔君(62)と会うことが出来た。山本君の連絡により

各自負担としたためか、返信が少なく、発行部数の決

定が難しい。発行費支出見積り額は約180万円となり、単

価2,000円で600部を出し、経費の不足額約60万円は広告

収入で補填することが了承された。この広告料集めには卒業生会員の御協力を切にお願いする。

尚、繰返し目減り対策として、資産の相当額を有利な

預金に移すことが了承された。

5については以下の通り理事会で決定された。

顧問/竹村校長 会長/C3重村

副会長/成富教務主事、C2山村

教職員理事/(会計)辻学生主事、M田口

(庶務)E須藤、C永田、G品川、A吉岡

(名簿)M川岸、A上原、E塙本 狩生事務部長

理事/(M)M1川岸、M2松岡 (E)E1山口、E8

塙本※ (C)C1高口、C1塙本 (A)A1鶴田、

A2平野、A4上原※

監事/C1岸川、M6柏村 ※は名簿理事を兼務

6、その他について、建築学科松島先生の定年退官謝

思会の席で、同窓会館の建設が話題となったとのこと

である。これについては調査研究の方向で事業計画の一部に含めることとなつた。

以上が簡単な理事会報告である。終りに卒業生会員各

位の健康と活躍を祈り、併せて本会への協力、特に消息

連絡をお願いして本通信を終る。

工業化学科

■塙本祐右教授 (三井アルミニウム工業KK 管理担当部

長)が着任され、物理化学、有機特論等を担当されま

す。

■冰室昭三先生は5月より熊本大学へ内地留学されてい

※次の方々が結婚されました。おめでとうございます。

■松川典幸君 (52) ☎63.2.11結婚 (新婦加津江さん)

■内藤浩敏君 (56) ☎63.2.11結婚 (新婦安子さん)

◎〒662 西宮市両町3-1-202 竹中工務店第2家族寮

☎0798-65-2546

■古賀美由起君 (56) ☎63.3.3 結婚 (新郎山口浩和さ

ん) ☎〒840 佐賀市八戸1丁目2-13

■佐藤正勝君 (54) ☎63.3.5 結婚 (新婦妙子さん)

■小野泰彦君 (59) ☎63.3.21 結婚 (新婦ひとみさん)

◎日田市鹿児町964-1 ☎0973-22-7213

■古賀一君 (48) ☎63.4.9 結婚 (新婦峯子さん)

■山口正文君 (59) ☎63.4.24 結婚 (新婦加津子さん)

※同窓生の転勤・転職・転居等をお知らせします。

■濱田雅典君 (48) ☎転居〒115 東京都北区神谷1-3-3-609 ☎03-927-7430

■下山洋一君 (49) ☎転職 京セラ本社◎〒520 滋賀県大津市柳川2丁目3-4 シャルムヤナガワ301号 ☎0775-25-7883

■松木誠徳君 (57) ☎転職 三潴町立犬塚小学校 ◎〒837 大牟田市大字吉野1180-7 ☎58-0386

■富松 歩君 (61) ☎転職 佐賀エレクトロニックスKK

◎〒837 大牟田市橋1250

■野添拓見君 (62) ☎転職 日本データスキルKK

■宅島秀典君 (63) ☎就職 旭光学工業KK◎〒174 東京都板橋区前野町2-37-12 旭光学前野寮 ☎03-960-8080

■中村昭人君 (49) ☎転居〒182 東京都調布市下石原2-3-5 鹿児第2コープ ☎0424-81-9745

■西山敏治君 (49) ☎転職 稲島村組 〒865 玉名市中尾490-1 ☎09687-2-2469

■杉野繁樹君 (50) ☎転居 〒227 横浜市緑区新石川3-29-2 田園ドミール307 ☎045-911-5392

■増原昭彦君 (50) ☎転勤 清水建設㈱九州支店 〒810

福岡市中央区赤坂1丁目1番29号 ☎092-716-2025

◎〒810 福岡市中央区輝町2-10-5-234 ☎092-722-4943

■友岡英則君 (52) ☎転居 〒836 福岡市中央区伊崎11-304

■高峰(井上)邦広君 (53) ☎転居〒866 八代市永碇町87-5-1 ☎0965-32-3139

■江口俊彦君 (53) ☎転居〒830 久留米市青峰3丁目9-1825 ☎0942-44-5282

■木山成福君 (58) ☎転職 自営(木山建設) ◎〒828-01

豊前市下河内69-1 ☎0978-8-2168

■坂本頸彦君 (58) ☎転勤 佛島建設㈱岡山支店

◎〒257 泰野市平沢24-1 知新寮

☎0463-81-9569

■木山成福君 (58) ☎転職 自営(木山建設) ◎〒828-01

豊前市下河内69-1 ☎0978-8-2168

■坂本頸彦君 (58) ☎転勤 佛島建設㈱岡山支店

◎〒257 泰野市平沢24-1 知新寮

☎0463-81-9569

■木山成福君 (58) ☎転職 自営(木山建設) ◎〒828-01

豊前市下河内69-1 ☎0978-8-2168

■坂本頸彦君 (58) ☎転勤 佛島建設㈱岡山支店

◎〒257 泰野市平沢24-1 知新寮

☎0463-81-9569

■木山成福君 (58) ☎転職 自営(木山建設) ◎〒828-01

豊前市下河内69-1 ☎0978-8-2168

■坂本頸彦君 (58) ☎転勤 佛島建設㈱岡山支店

◎〒257 泰野市平沢24-1 知新寮

☎0463-81-9569

■木山成福君 (58) ☎転職 自営(木山建設) ◎〒828-01

豊前市下河内69-1 ☎0978-8-2168

■坂本頸彦君 (58) ☎転勤 佛島建設㈱岡山支店

◎〒257 泰野市平沢24-1 知新寮

☎0463-81-9569

■木山成福君 (58) ☎転職 自営(木山建設) ◎〒828-01

豊前市下河内69-1 ☎0978-8-2168

■坂本頸彦君 (58) ☎転勤 佛島建設㈱岡山支店

◎〒257 泰野市平沢24-1 知新寮

☎0463-81-9569

■木山成福君 (58) ☎転職 自営(木山建設) ◎〒828-01

豊前市下河内69-1 ☎0978-8-2168

■坂本頸彦君 (58) ☎転勤 佛島建設㈱岡山支店

◎〒257 泰野市平沢24-1 知新寮

☎0463-81-9569

</

高専大会予告

全国大会

|| 春季球技大会 ||

公開講座受講生募集

有明高専だより

昭和63年 6月13日

◆地区大会

第25回九州地区

有明高専担当種目

第25回九州地区 高専体育大会日程	
○陸上競技	7月23日・24日
○軟式庭球	7月23日・24日
○サッカー	7月23日・24日
○卓 球	7月23日・24日
○バスケットボール	7月23日・24日
○硬式野球	7月23日・24日
○ラグビー	11月18日・23日
○熊本電波高専担当種目	(雨天の場合)
○熊本工業大学球場	有明高専第一体育館
○ニコニコ堂球場	大牟田市民体育馆
○大分高専担当種目	ト
○ウンド	有明高専テニスコート
○柔道	大牟田市記念グラウンド
○県立総合体育馆	有明高専担当種目

○バレーボール	新日鐵体育馆	7月23日・24日
第15回九州地区高専		
ハンドボール大会		
会場 鹿児島高専	参加校 有明、北九州、都城、	期日 7月17日
隼人町立体育馆	八代、鹿児島	会場 第18回西日本地区
参加校 鹿児島高専	久留米、北九州、有明、	会場 高専弓道大会
都城高専	八代、都城、鹿児島	期日 7月22日
参加校 久留米、北九州、有明、	早水文化センタ-	会場 第4回九州地区
八代、都城、鹿児島	大分高専	会場 高専硬式庭球大会
参加校 北九州、久留米、佐世保	県営駄原庭球場	期日 7月23日・24日
大分、都城、鹿児島	有明、熊本電波、八代、	会場 九州地区高専
九州地区高専	大分、熊本電波、大分、	会場 北九州高専
バドミントン大会	佐世保	会場 第一・第二体育馆
会場 北九州高専	有明、熊本電波、大分、	参加校 鹿児島高専
会場 北九州高専	鹿児島高専	会場 鹿児島高専
バドミントン大会	佐世保	会場 鹿児島高専
会場 北九州高専	有明、熊本電波、大分、	会場 鹿児島高専
会場 北九州高専	鹿児島高専	会場 鹿児島高専

第23回全国高等学校専門学校体育大会

期日 8月21日・22日	*印 21日のみ
○有明高専担当種目	
○硬式野球会場	
大牟田市延命球場	
荒尾市営野球場	
○バスケットボール会場	
大牟田市民体育館	
久留米高専（主管）担当種目	
○*陸上競技会場	
久留米総合スポーツセンター	
県立陸上競技場	
○*軟式庭球会場	
久留米総合スポーツセンター	
県立テニスコート	
(雨) 久留米高専体育馆	
○*剣道会場	
久留米総合スポーツセンター	
○バレーボール会場	
私立武道館	
柳川市民体育馆	
北九州高専担当種目	
○卓球会場	
北九州市立小倉南体育馆	
○*柔道会場	

雲一つない春の青空の下で個人球技は中止。急速バレー・ボール1と2、それに卓球へと種目が変更され、どこが勝つのか予想もしがたい混戦となつた。

結果は、バレー・ボール1ではソフトボールでも優勝候補であった5Aが、バレー・ボール2では予想通り勝ち上ったチームの中から4Eが、卓球はこの種目でなぜか強い5Mがそれぞれ勝利を掴んだ。

最後に、準備、進行、後片付け等で御協力下さつた方々、どうもありがとうございました。

○球技大会結果

☆バレーボール（ソフト）

優勝	準優勝	個人賞	
優勝	五年建築	黒崎	清光
準優勝	四年電気	大崎	信幸
個人賞	五年建架	井本	隆視
個人賞	三年建築	井本	隆視
優勝	五年機械	大崎	信幸
準優勝	四年電気	黒崎	清光
個人賞	五年建架	井本	隆視
個人賞	三年建築	井本	隆視
優勝	五年機械	大崎	信幸
優秀クラス	四年電気	黒崎	清光
最優秀クラス	四年電気	大崎	信幸

編集後記

●中学生のための化学実験講座	日時 7月25日(月)～7月26日(火)
◎パソコン入門教室	毎日9時～17時
対象 中学生	募集人員 20名 受講料三千円
対象 中学生	場所 本校 工業化学科実験室
募集人員 40名 受講料三千円	日時 7月27日(水)～7月30日(土)
場所 本校電子計算機演習室	毎日9時～12時30分
宮本信明助教授 (工業化学科)	このところ、本校教育の学位取得が相次いでいる。めでたいことである。そこで、晴れて博士になられた先生方に筆をとてもらつた。なお、学位論文の題目と取得日は次のとおりである。
新谷肇一助教授 (建築学科)	「マンガン－アンモニウムガルバメートからの二酸化マンガンの化學合成とその電池材料としての特性」(昭和61年9月24日)
松本和秋助教授 (工業化学科)	「ゲルクロマトグラフィー用親水性ゲルの開発に関する研究」(昭和61年2月3日)
「近代日本の病院建築に関する計画的研究」(昭和63年2月1日)	「近代日本の病院建築に関する計画的研究」(昭和63年2月1日)